

脳腫瘍と診断されたら

頭痛や吐き気、言葉が出ない、手足の痺れ、ふらつきなどといった症状は最近ございませんか？ 実は、これらは「脳腫瘍」によっても起きる症状です。

脳腫瘍には頭蓋内の細胞から発生した「原発性脳腫瘍」と、脳以外の部分で発生したがんが脳に転移した「転移性脳腫瘍」があります。米国の統計によれば、原発性脳腫瘍の発生頻度は10万人につき10～15人といわれています。しかし、発生原因についてはまだ十分に解明されていない病気なのです。

今回の講座では、その脳腫瘍治療の最新情報を交え、脳神経外科教授 秋元治朗医師が詳しく解説をいたします。

皆さまのQOL（生活の質）にお役立てください。

■日 時：平成30年6月18日（月）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

